

農 商 工 トレンド



農業生産法人 株式会社 あいあいファーム

代表取締役社長 伊志嶺勲氏

生産、加工、販売を連携し、
食の安全・安心と農村の活性化を図る。

連携パターン

事業者主導による事業展開

参入のきっかけ

安全・安心な食の提供



今帰仁村の農場で栽培された野菜が、各店舗へ供給されている。

■無農薬野菜の自社生産に乗り出す

県内で自然食ビュッフェレストラン「だいこんの花」を展開する株式会社アメニティが、2009年に無農薬野菜を自社生産する「農業生産法人あいあいファーム」を立ち上げた。レストランのお客様に安全・安心の無農薬、有機栽培食材を安定的に提供するのが目的だ。

「だいこんの花」を始めた当初は、希望していた安全・安心の食材を安定的に手に入れることが難しく、年間を通した供給体制を構築できなかったことから、「それなら自分たちで作ろう」と思い立ち農業生産法人を設立した。

■6次産業化にも取り組む

あいあいファームは、今帰仁村内の農地で農業生産に取り組み、「だいこんの花」に安全・安心の野菜を供給してきたが、近年は、地域資源を活かして、生産だけでなく加工、販売までを総合的に行うプロジェクトをスタートさせた。地元農家と連携して地域の自給率を高め、最終的には農業への関心を高めることを目的とした体験型教育ファームの構築を目指している。同プロジェクトは、2011年に廃校となった今帰仁村立湧川小学校跡地に本社を置き、460坪のハウス1棟からスタートした。その後、農家から放棄農地を借りて、3年で2万坪を超える農地を有するまでに至っている。

現在、自社産の大豆や県内農家と連携して沖縄産小麦を栽培し、味噌、豆腐などの加工商品を生産するほか、天然酵母パンや米粉を加えたスイーツなどの自社商品も開発。2012年2月に宜野湾市大謝名に直売店「たいよう市場」をオープンさせた。

「有機野菜やその加工品は、「だいこんの花」に供給

するだけでなく、カフェを併設した直売所のたいよう市場で販売しています。県産素材のパイナップルやドライフルーツ、沖縄産ハーブなどを使用したスイーツやパンは、お客様から好評を得ています」

■食と農業について学ぶ教育ファームの整備に向けて

「農業の担い手はみな高齢化し、放棄農地も増え、集落の機能が成り立たない地域が増加しています。食

に携わる者として何ができるのか。この事業は、単に自分達が必要なものを作るという農業から、田舎を守り、自給率を上げ沖縄の食糧を守るという、やりがいのある取り組みに発展しています。いまでは私よりもスタッフのほうが燃えています」

生産から加工、販売までと、順調に展開しているあいあいファームだが、「まだ計画の3割程度しか達成していません。今後、農業体験のできる農場

の整備や、食べて学べる体験型宿泊施設など、教育ファームとして整備していくために、やることがたくさんあります」。

地元今帰仁村や近隣市町村出身者を積極的に採用し、地域の雇用拡大にも積極的に取り組んでいる。

安心・安全な食を提供したいという発想から始まって、農業を通じた地域活性化まで見据える伊志嶺氏の取り組みは、まだまだこれからだ。

問い合わせ先

農業生産法人 株式会社 あいあいファーム

〒905-0412 沖縄県国頭郡今帰仁村湧川577
TEL : 098-855-5657 FAX : 098-855-5666
URL <http://happy-aiifarm.com>



豊富なメニューがところ狭しと並ぶ、だいこんの花店内。